

# 企業ニュース 良品計画

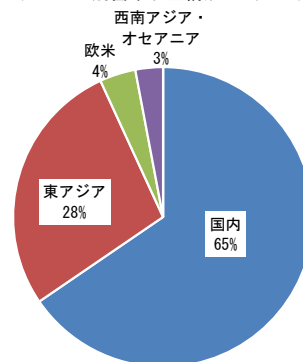
(東証1部 : 7453) <https://ryohin-keikaku.jp/>

作成者:高見澤晶子

## 「無印良品」を展開

「無印良品」の企画開発から販売までを行う製造小売業。衣料品、生活雑貨、食品など日常生活全般にわたる商品を取り扱う。無印良品の店舗数は国内が456店、海外が546店(2021年8月末時点)。2021年7月、22.8期～24.8期の中期経営計画を公表。最終年度に売上高7,000億円(国内4,500億円、海外2,500億円)、営業利益750億円、ROA・ROEともに15%以上という高い目標を掲げた。当計画では日本と中国にリソースを集中、店舗に権限委譲する個店経営を軸とした地域密着型事業モデルを創りつつ収益拡大を図る。また、消費者の生活圏を含めて出店を加速する。個店経営や出店加速に当たっては、人材の採用や店長候補の育成、本部機能の強化を推進するとしている。

◇セグメント別営業収益構成比(21.8期)



(注) 22.8期より「西南アジア・オセアニア」は「東南アジア・オセアニア」に名称変更  
(出所) 良品計画資料よりCAM作成

## 22.8期は保守的な計画、上振れが期待される

21.8期の連結業績は、営業収益が4,537億円、営業利益が424億円(20.8期が6カ月間の変則決算のため、対前期の伸び率は非算出)。国内は販売が好調、価格改定の効果や食品の強化により客数が伸長した。海外は中国を中心としたアジア圏で堅調な推移が継続したほか、欧米の収益改善も寄与した。

22.8期の通期会社計画は、営業収益が4,800億円、前期比6%増、営業利益が450億円、同6%増。店舗数は国内45店、海外36店の純増を計画、やや下期寄りの出店となる予定。国内は営業収益が3,220億円、同8%増、営業利益が302億円、同6%増益を想定。既存店売上高前提はECを含めて同1%増と保守的、会社は最低限の目線とコメントしており上振れ余地が残る。海外は営業収益が1,580億円、同1%増、営業利益が148億円、同9%増益を想定。東アジアの堅調な推移に加え、東南アジアのコロナ禍からの回復、欧米の収益改善を見込む。今期は中期経営計画に沿って本部を中心に人材の採用・育成を強化する方針、新たな組織体制の構築が進もう。なお、当期利益は前期に計上した北米事業のリース債務免除益約31億円の反動減で減益の計画となっている。

## [株価動向・投資判断]

組織体制強化の上での国内シェア拡大、海外展開加速に期待したい。

<7453 良品計画 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	営業収益	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	円	円
20.8	179,392(-)	872(-)	563(-)	▲16,917(-)	▲64.3	5.00
21.8	453,689(-)	42,447(-)	45,369(-)	33,903(-)	128.9	40.00
22.8 予	480,000(+6)	45,000(+6)	45,000(+▲1)	32,000(+▲6)	121.7	40.00

(注) 20.8期は決算期変更による6カ月間の変則決算であるため、20.8期および21.8期の対前期の伸び率は「-」表示。



[主要株価指標] (売買単位:100株)	
株価(2021/10/15)	2,304 円
年初来高値(高値日)	2,829 円(21/3/18)
同 安値(安値日)	2,002 円(21/6/21)
予想 P E R (22.8 予)	18.9 倍
1株株主資本(PBR算出用)	806.7 円
P B R	2.86 倍
予想配当利回り	1.74 %
(1株当たり配当金年40.00円)	
ROE(21.8)	17.3 %
発行済み株式数	28,078 万株